



2023年3月期

中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

業績ハイライト (百万円未満切捨て)

売上収益

5,736億99百万円

前年同期比 **28.2%増**
(通期見込 1兆1,600億円)



コア営業利益

561億85百万円

前年同期比 **12.7%増**
(通期見込 1,150億円)



営業利益

538億72百万円

前年同期比 **8.2%増**
(通期見込 1,130億円)



税引前四半期利益

496億41百万円

前年同期比 **10.3%増**
(通期見込 990億円)



親会社の所有者に帰属する四半期利益

351億49百万円

前年同期比 **2.5%増**
(通期見込 680億円)



基本的1株当たり四半期利益

81.22円

(通期見込 157.11円)

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

株主の皆様へ



代表取締役社長 CEO

濱田 敏彦

企業理念 NSHD Group Philosophy

進取と共創。ガスで未来を拓く。

Proactive. Innovative. Collaborative.
Making life better through gas technology.

The Gas Professionals

グループ
ビジョン NSHD Group Vision

**私たちは、革新的なガスソリューションにより
社会に新たな価値を提供し、
あらゆる産業の発展に貢献すると共に、
人と社会と地球の心地よい未来の実現をめざします。**

We aim to create social value through innovative gas solutions that increase industrial productivity, enhance human well-being and contribute to a more sustainable future.

株主の皆様には、平素から当社の事業運営に格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当上半期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）における当社グループの事業環境は、ウクライナ情勢の長期化などに関連した世界各地でのエネルギー価格の高騰、世界的な物価上昇、円安のさらなる進行など、先行きを見通すことが困難な厳しい事業環境となりましたが、セパレートガス（酸素、窒素、アルゴン）の出荷数量は、前期並みに推移しました。

このような状況の下、当上半期における業績は、売上収益5,736億99百万円（前年同期比 28.2%増加）、コア営業利益561億85百万円（同 12.7%増加）、営業利益538億72百万円（同 8.2%増加）、親会社の所有者に帰属する四半期利益351億49百万円（同 2.5%増加）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、株主の皆様に対して安定的・継続的に利益を還元するという基本方針に基づき1株につき18円（前期の中間配当金は1株につき16円）とさせていただきます。

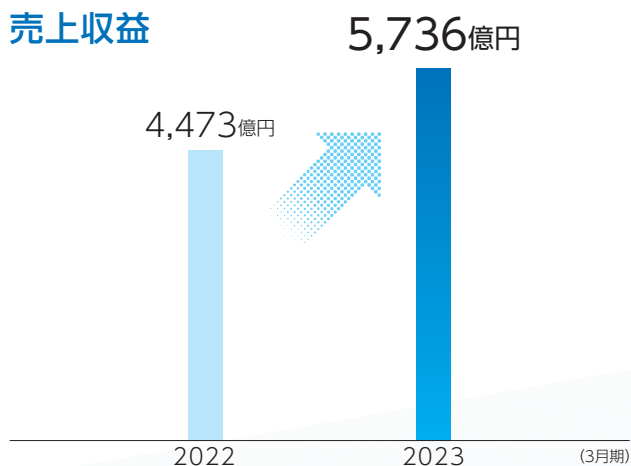
ロシアのウクライナへの侵攻以降は、大国間で政治的緊張が一層高まるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大により混乱した経済活動もインフレーションにより回復を妨げられています。当社は、このような不安定な時代においても、今後成長が期待されるエレクトロニクス産業向けの電子材料ガス事業に一層注力するとともに、セパレートガスをはじめとする当社製品の安定供給に努め、中期経営計画「NS Vision2026」で掲げたスローガン“Enabling the Future”のもと、人・社会・地球にとって豊かで明るい未来の実現に貢献して参る所存です。

株主の皆様におかれましては、当社に対しまして引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

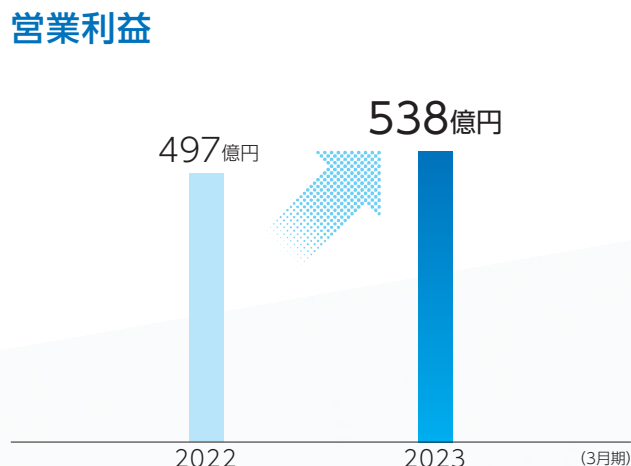
2022年12月
代表取締役社長 CEO
濱田 敏彦

業績ハイライト (上半期)

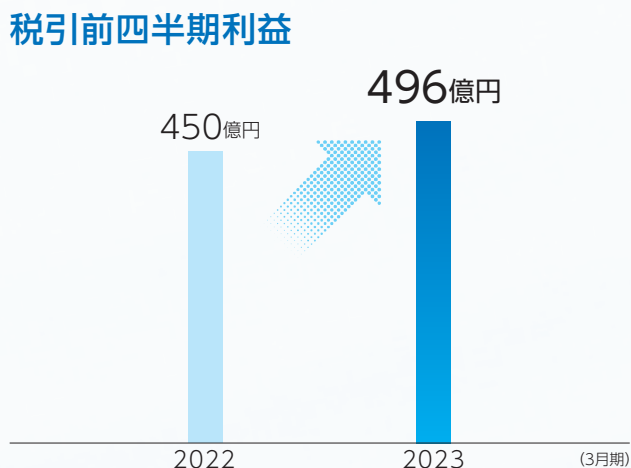
売上収益



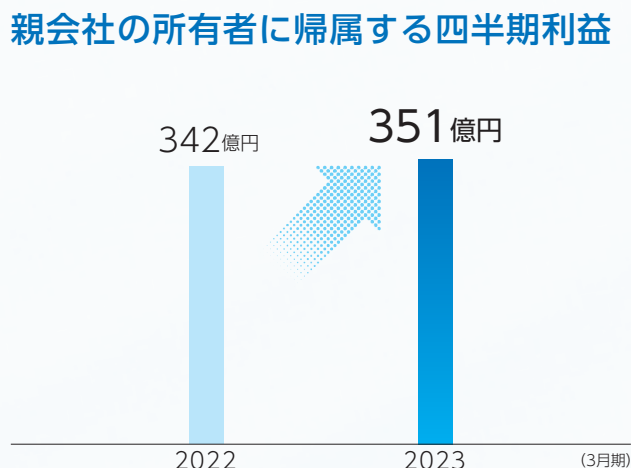
営業利益



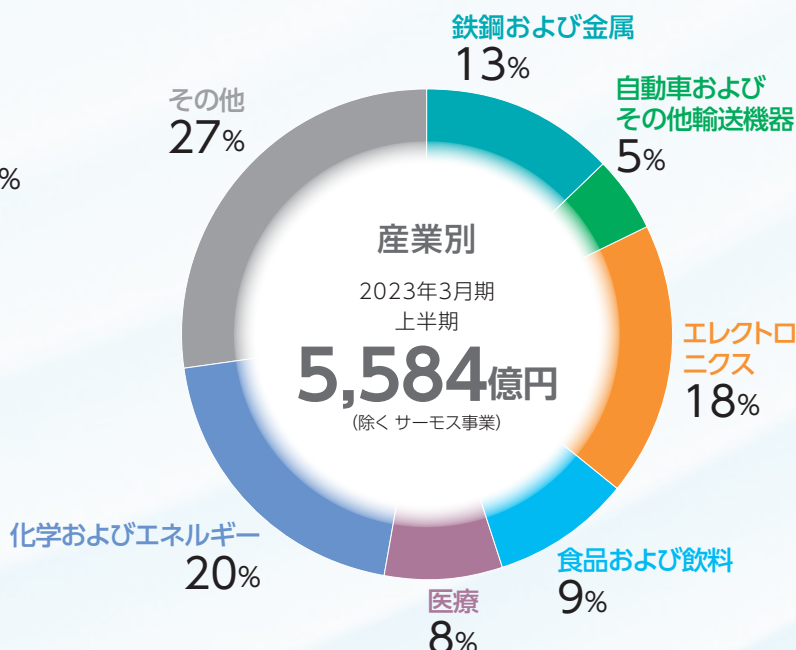
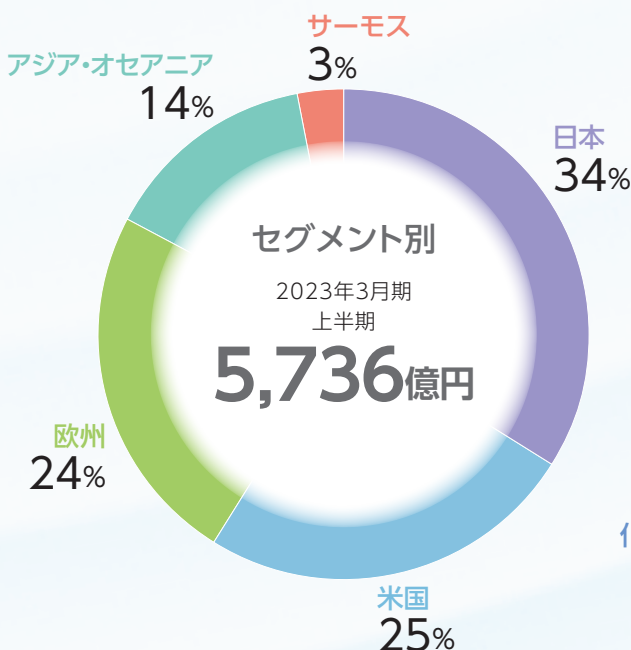
税引前四半期利益



親会社の所有者に帰属する四半期利益



売上収益構成比



日本酸素ホールディングスグループの価値創造ストーリー

中期経営計画「NS Vision 2026」では、私たちを取り巻く外部環境について、グループ全体でその認識を確認しました。そして、事業活動では各地域でのベストプラクティスを共有し、オペレーショナル・エクセレンスを追求することで、社会価値と経済価値を両立させ、さらなる企業価値の向上をめざします。

外部環境 (環境・社会)

前提となる外部環境認識
気候変動による影響
経済的な不確実さ
地政学的な不安定さ
デジタル社会の発展
価値観や生活様式の多様化

事業活動

オペレーショナル・エクセレンスの追求

ベストプラクティスの共有



プラント・エンジニアリング技術 / ガス・ハンドリング技術 / ガス・アプリケーション技術 / 供給形式 (オンサイト、バルク、パッケージ) / 真空断熱技術 / 品質・保安・環境マネジメント

リスクマネジメント

コーポレートガバナンス

OUTCOME

グループビジョンの実現

私たちは、革新的なガスソリューションにより、社会に新たな価値を提供し、あらゆる産業の発展に貢献すると共に、人と社会と地球の心地よい未来の実現をめざします。



すべての人を尊重し、人の成長・健康・働きがいに貢献



社会インフラとして機能し、あらゆる産業の発展と人々の豊かな生活に貢献



持続可能な地球環境の保全に貢献

Enabling the Future

中期経営計画「NS Vision 2026」

マテリアリティ

OUTPUT

産業ガス事業領域

酸素・窒素・アルゴン等
機器・設備・ソリューション



エレクトロニクス事業領域

電子材料ガス等
機器・設備・ソリューション



サーモス事業領域

魔法びん、タンブラー、フライパン等
エコロジカル製品群



当社グループ中期経営計画

NS Vision 2026

Enabling the Future

重点戦略

サステナビリティ経営の推進

脱炭素社会に向けた新事業の探求

エレクトロニクス事業の拡大

オペレーショナル・エクセレンスの追求

新しい価値創出へとつながるDX戦略

事業紹介

THERMOS

サーモス事業

1978年、日本酸素ホールディングスの前身である日本酸素は、産業ガス事業で培われた真空断熱技術を生かして世界で初めて「高真空ステンレス製魔法びん」を開発し、その製造・販売事業を開始しました。

1989年、日本酸素が米国Household International Inc.からサーモス事業（「THERMOS」ブランドでガラス製魔法びんなどを製造・販売）を買収し、当社における「THERMOS」ブランドの歴史が始まりました。

そして、2001年の日本酸素の家庭用品事業分社化により、サーモスが設立され、現在では世界120カ国以上で展開しています。ブランドコンセプトの「サーモスマジック」には、真空断熱技術と、ユニークな生活快適発想を柔軟に組み合わせ、もっとおいしく、パッと便利で、ほっと心地よい、夢ある暮らしを創造したいという思いが込められています。



新製品・トピックス

詳しくはこちらからご覧ください。

サーモス 新製品

検索



「食洗機対応モデル」拡充！

サーモス初のパッキン一体構造「まる洗ユニット」を開発し、洗いやすい構造と食洗機対応モデルを拡充。



サーモス初の保存容器『My フードコンテナ』

サーモス初の保存容器『My フードコンテナ』と『フライパン』で広がる「保存調理」を提案。



食洗機対応！

スタッキングOKで収納しやすい。

重ねて省スペースに収納できます。ステンレス製魔法びん構造で温かさ・冷たさが長持ちします。

サーモス 会員サイト／情報サイト



クラブサーモスはTHERMOSファンの皆様のための無料会員サイトです。個性豊かなコラム連載や会員制コンテンツ、サーモス製品が当たる毎月のキャンペーンなど、楽しい企画が盛りだくさん！

日々の暮らしのヒントに



PLUS THERMOSは、生活に豊かさを生み出す+αのエッセンスを提供するメディアです。

「日本酸素ホールディングス統合報告書2022」を発行しました。

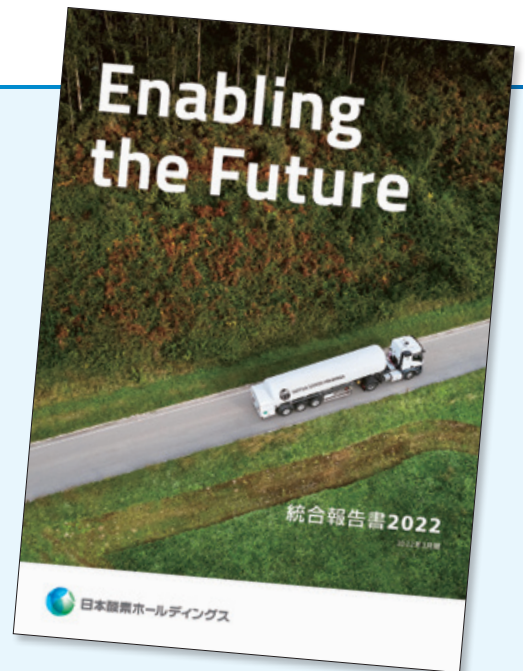
2022年9月に、当社グループの財務情報と非財務情報を1冊にまとめた「統合報告書」を発行いたしましたので、お知らせいたします。

2022年版は、紙資料の削減等により環境保護に配慮して、コーポレートウェブサイトを通じ、電子版（PDF形式）で配布しております。

持株会社体制移行後、初めての4ヶ年の中期経営計画「NS Vision 2026」を2022年5月に発表しました。本報告書の中では、この中期経営計画の説明を通じて、当社のマテリアリティ（重要課題）の特定、リスクと機会の分析、戦略と財務・非財務目標といった当社グループ全体の方向性について、ご理解いただけるように留意して編集いたしました。

皆様にとって、本書が当社グループのご理解を深めていただける一助になりましたら、幸いです。

読者アンケートを実施しております。ぜひ、皆様からの声をお寄せください。ご協力いただいた方から抽選で、サーモス製品をプレゼントいたします。



日本酸素ホールディングス 統合報告書 検索



▶ CNBC Asiaおよび日経CNBCで放送される「Channel Japan」で、当社グループが紹介されました。



番組名 Channel JAPAN | 日本の今をアジアへ発信

—脱炭素時代を迎えますますニーズ高まる産業ガス。
ガスプロフェッショナルとしてサステナブル社会に貢献する
日本酸素ホールディングスをレポート



経営陣へのインタビュー、キャスターによる取材・レポート、専門家による産業ガス業界に関する解説などで構成されており、当社グループが創出している価値や成長に向けた考えをお伝えしています。ぜひご覧ください（放送尺：約12分）。

IRニュースメール配信サービス

当社ウェブサイトまたはQRコードからメールアドレスをご登録いただきますと、適時開示等の当社IR情報が自動配信されます。

IRニュースメール配信サービス
登録画面



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

IR情報はホームページからもご覧いただけます。

最新の決算情報等のIR関連資料は、こちらのコーポレートウェブサイトからご覧いただけます。

日本酸素ホールディングス 検索



連結財務諸表

連結財政状態計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当上半期末 2022年 9月30日現在	前期末 2022年 3月31日現在
資産		
流動資産 ①	497,503	422,493
非流動資産 ①	1,658,188	1,554,532
資産合計	2,155,691	1,977,026
負債及び資本		
負債		
流動負債 ②	425,504	331,595
非流動負債 ②	987,180	984,292
負債合計	1,412,684	1,315,888
資本		
資本金	37,344	37,344
資本剰余金	51,563	55,945
自己株式	△230	△281
利益剰余金	504,569	476,589
その他の資本の構成要素	117,251	59,115
親会社の所有者に帰属する持分合計	710,499	628,714
非支配持分	32,507	32,423
資本合計 ③	743,006	661,137
負債及び資本合計	2,155,691	1,977,026

POINT ① 流動資産・非流動資産

流動資産・非流動資産は、為替の影響等による有形固定資産や無形資産などの増加等により、前期末に比べ1,786億65百万円増加しました。

POINT ② 流動負債・非流動負債

流動負債・非流動負債は、その他の金融負債や社債及び借入金、繰延税金負債などの増加等により、前期末に比べ967億96百万円増加しました。

POINT ③ 資本合計

資本合計は、在外営業活動体の換算差額や親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加等により、前期末に比べ818億69百万円増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当上半期 2022年4月1日～ 2022年9月30日	前上半期 2021年4月1日～ 2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー ⑦	72,122	66,637
投資活動によるキャッシュ・フロー ⑧	△42,252	△29,878
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑨	△25,448	△43,010
現金及び現金同等物に係る 為替変動による影響	2,896	△886
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,318	△7,139
現金及び現金同等物の期首残高	93,697	91,058
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	253
現金及び現金同等物の四半期末残高	101,015	84,173

POINT ⑦ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益、減価償却費及び償却費、棚卸資産の増減等により721億22百万円の収入となりました。

POINT ⑧ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により422億52百万円の支出となりました。

POINT ⑨ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出、短期借入金の純増減、配当金の支払額等により254億48百万円の支出となりました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当上半期 2022年4月1日～ 2022年9月30日	前上半期 2021年4月1日～ 2021年9月30日
売上収益 ④	573,699	447,374
売上原価	△366,611	△273,530
売上総利益	207,088	173,843
販売費及び一般管理費	△152,456	△125,661
その他の営業収益	3,704	1,264
その他の営業費用	△5,558	△1,041
持分法による投資利益	1,093	1,394
営業利益 ⑤	53,872	49,799
金融収益	2,392	1,060
金融費用	△6,623	△5,833
税引前四半期利益	49,641	45,026
法人所得税	△13,219	△9,872
四半期利益	36,422	35,154
四半期利益の帰属		
親会社の所有者 ⑥	35,149	34,291
非支配持分	1,272	862

POINT ④ 売上収益

売上収益は、セパレートガスの出荷数量は前期並みに推移しましたが、為替の影響等により、前年同期比で1,263億25百万円の増収となりました。

POINT ⑤ 営業利益

営業利益は、世界各地でのエネルギー価格の高騰、世界的な物価上昇など、先行きを見通すことが困難な厳しい事業環境となりましたが、コスト上昇を価格上昇でカバーするなど、前年同期比で40億72百万円の増益となりました。

POINT ⑥ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、営業利益や金融収益の増加等により、前年同期比で8億57百万円の増益となりました。

単元未満株式(1株~99株)をお持ちの株主様へ

● 単元未満株式(1株~99株)とは

当社の最低売買単位である1単元(100株)に満たない株式のことをいいます。単元未満株式(1株~99株)については、証券市場で売買することはできません。

単元株式	単元未満株式
株主総会で議決権を行使できます。 証券市場で売買できます。	株主総会で議決権を行使できません。 証券市場で売買できません。

ご利用方法
証券会社の口座をお持ちの株式については、お取引先の証券会社でお手続きください。
また、特別口座をお持ちの株式については、当社の特別口座の口座管理機関までお問い合わせください。

※特別口座に株式をお持ちの株主様が、株式を売買される場合は、あらかじめ特別口座から証券会社の口座へ振り替えが必要となりますので、お早めにお手続きください。

上記ご案内の内容につきましては、以下にお問い合わせください。

お問い合わせ先 **みずほ信託銀行 証券代行部** フリーダイヤル **0120-288-324** (土・日・祝日を除く9:00~17:00)

● 単元株式(100株)にするには

単元未満株式をお持ちの株主様は、市場価格で、単元株式(100株)にするために必要な株数を当社からご購入(買増制度)または単元未満株式を当社に対しご売却(買取制度)いただくことができます。

(例) 40株をお持ちの株主様の場合

買増制度	買取制度
60株を、当社から市場価格でご購入いただけます。	当社が、40株を市場価格で買い取らせていただきます。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

公告方法	当社ウェブサイト(https://www.nipponsanso-hd.co.jp/)に掲載します。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所
証券コード	4091
単元株式数	100株

株式事務に関するご案内

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウンジでは、お取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行 本店および全国各支店	
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	お取引の証券会社等または右記みずほ信託銀行までお問い合わせください。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売却はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせたいため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。(所要時間は5分程度です)

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com> アクセスコード **4091**

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……

検索窓から

kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
[件名][本文]は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です **ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます**

本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>
●アンケートのお問合せ [「e-株主リサーチ事務局」](mailto:e-株主リサーチ事務局) MAIL:info@e-kabunushi.com

株主総会資料 電子提供制度開始 のご案内

会社法改正により、2023年3月以降に開催される株主総会より株主総会資料の電子提供制度が開始されます。

当該制度に関するリーフレットを同封しておりますので、詳細につきましてはそちらをご参照ください。

会社法改正により
株主総会資料が
原則ウェブ化されます

従来の紙媒体提供からウェブ提供へ移行します。

2023年3月以降の株主総会より

本制度について詳しくはこちら



〒142-0062 東京都品川区小山一丁目3番26号
TEL (03) 5788-8500 (大代表) <https://www.nipponsanso-hd.co.jp/>

